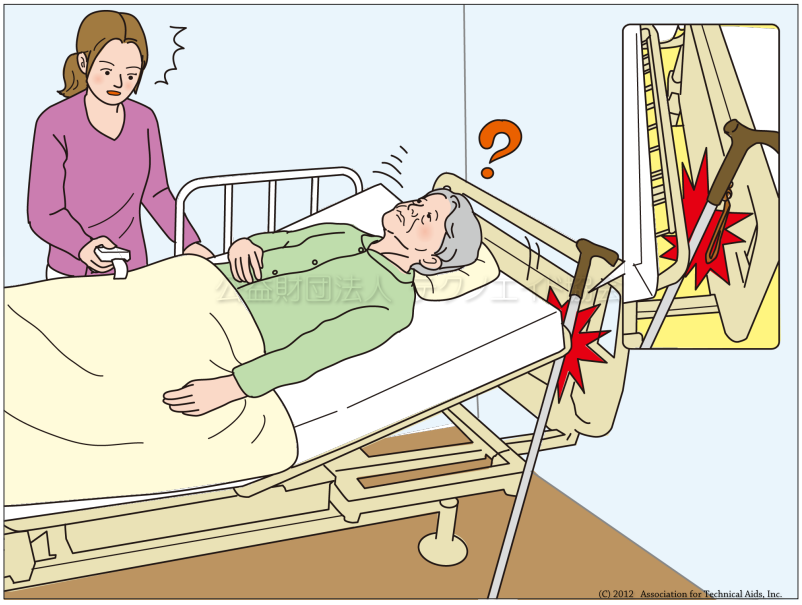
Case：198

杖が倒れて挟まってしまい、頭側が下がらなくなってしまう

場面の説明

ベッドに立てかけていた杖が倒れて、背ボトムとフレームの間に挟まってしまった



利用シーン	起居・就寝 リモコン操作
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	―
分類コード(CCTA95)	120303(ステッキ・T字杖)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

杖の位置が介助者からは見えづらく、このまま操作ボタンを押し続けてしまうかもしれません。多くのベッドでは、この状態でもモーターは動き続けますが、背もたれは支えを失っているので、杖が外れた瞬間に落下することが予測され、とても危険な状態であると言えます。介護用のベッドでは可動部の周囲に障害となるようなものを置かないことが大切です。

参考要因

人：杖を安定した場所に立てかけていなかった
人：ベッドの可動部付近に杖を立てかけた
モノ：安全装置がついていないベッドだった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.